

兵庫県知的障害者施設家族会連合会

第40号

ひょうごかぞくねっと

【事務局】〒650-0016 神戸市中央区橋通3丁目4-1 総合福祉センター 2F Tel (078)371-3930/Fax (078)371-3931(9:00~17:00 月~金)
平成29年9月25日発行 第40号 編集人/広報委員会 発行人/兵庫県知的障害者施設家族会連合会 印刷/デジタルグラフィック(株)

あれから 1 年

ひょうごかぞくねっと 会長 由岐 透



相模原市の知的障害者入所施設津久井やまゆり園で46人が殺傷された事件で、殺人などの罪で起訴された施設の元職員、植松聖被告について今後開かれる予定の裁判では殺害された19人全員の名前

を公開せず、匿名で審理を進めると決定されました。

みなさんご存じのとおり、この事件は1年前の7月26日未明、相模原市緑区の知的障害者の入所施設「津久井やまゆり園」で入所していた知的障害のある人たちが次々に刃物で刺されて19人が殺害され、27人が重軽傷を負ったもので、元職員の植松聖被告(27)が殺人罪などの罪で起訴されています。

横浜地方裁判所では裁判員裁判の準備が進められていますが、殺害された19人全員の名前などを法廷で公開せず、匿名で審理を進めると決定されました。検察が遺族の意向を聞き、被害者のプライバシーを保護する必要があるとして法廷で名前などを公開しないよう申し立て、裁判所が認めたということです。

事件当時、被害者の氏名、年齢をなぜ公表しないのか？新聞、テレビ、週刊紙マスコミ各社から疑問と被害者の人権をどう考えているのかといった取材が多くありました。特に印象が強かったのはニューヨークタイムズ紙の記者がこのような事件で氏名年齢を公開しないことはアメリカでは考えられないことであり、また、日本では障害者に対する理解が深まっているのに何故このような事態が起こるのかが理解できないとのことでした。車両、航空機、山岳事故、事件等が発生した場合被害者の氏名、年齢は公開されているのに今回の事件報道は異様である

とっていました。

事件の当日、神奈川県警は殺害された19人の遺族のうち7人が氏名、年齢を公開しないでほしいという意向が強いことを非公開の根拠にし、マスコミに知らせませんでした。

遺族の意向が警察、検察、裁判に影響を与えてしまった。大変残念でなりません。それぞれの人にそれぞれの事情があり、また知的障害のある子が生まれた時から家族は肩身の狭い思い、恥ずかしい思い、遠慮、周りの人の理解が得られない悔しさ、差別、偏見から苦しい思いで生きてきた苦い経験から言うべきことを言えなかったために社会を変えられなかった。社会が変わらないから自己主張ができなかった。堂々めぐりを断ち切るためには私たちが変わり、社会を変えていく力に成らなければと思います。

全ての人は障害のあるなしにかかわらず名前があります。マスコミ報道では氏名を公開されない。裁判では匿名で審理を進める。知的障害をもつ人の人権を警察、検察、裁判所はどのように考えているのか。障害のある人には人格、人権がないのか、一個人として尊重されないのか。なぜなのか。私たち家族にも責任の一端があるように思えます。

津久井やまゆり園では7月24日追悼式が行われましたが19人の犠牲者の名前のない大きな白地の板が立てられているだけのさみしいものでした。やりきれない気持ちです。

知的障害者は文書や言葉で伝えることが難しいという特性があります。本人の思いを家族や施設職員が代弁者となり社会に訴えることが大切なことだと痛感します。

2016年度(平成28年度)事業報告

1. 障害福祉施策の状況

1. 「障害者福祉計画及び障害児計画に係る成果目標及び活動指標について」の中で成果目標①施設入所者の地域生活への移行を第5期(平成30年～32年度)時点で、平成28年度末の施設入所者数の9%以上が地域生活へ移行することを基本とする成果目標(案)としましたが、これを2%に下方修正しました。この要因の一つは第4期(平成27～29年度)までの実績が目標より低いこと。もう一つは私たち全施連の運動の成果であると思っています。一人では生きていけない知的障害者にとって入所施設の重要性を訴えてきました。
2. 厚生労働省は「我が事・丸ごと」をキャッチフレーズのもと、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる【地域共生社会】の具体化に取り組んでいます。なぜ「我が事・丸ごと」政策を急ぐのか「丸ごと保険制度」が透けて見えてきます。そうすると利用料、障害支援区分と介護保険認定などの問題が危惧されます。
3. 社会福祉法等一部を改正する法律が、平成28年3月に成立し、即日公布され平成29年4月「社会福祉法人」の制度は大きく変わりました。評議員会の設置義務化、理事会と機能分離など役割が整理されました。社会福祉法人は会計の面から見ても営利法人に近づいた感があります。

また、いわゆる社会福祉法人の内部留保の実態を明らかにし、地域に還元することが要求されることとなりました。しかし内部留保は利用者ものであり、地域に還元するのではなく、施設利用者、職員の処遇の改善に投下すべきであると、私たちは声を上げねばならないと考えます。
4. 平成28年7月26日未明、神奈川県相模原市の「津久井やまゆり園」で起こった惨烈な殺傷事件は日本全国にとどまらず、世界中に衝撃が走りました。被害にあった利用者とその家族、関係者の受けた衝撃、恐怖、悲しみ、極悪非道な行為に憤怒の念が込みあげてきます。この世に生まれて必要のない人間がいるなどという思想を受け入れることはできません。

みんな必要性、必然性があり役割があると思います。

根本的な再発防止策は、人間の命に価値をつける差別思想と闘うことでもあります。

2. 平成28年度活動の成果と反省

1. 支援を夜・昼に分けた事業形態は、利用者にも支援職員も施設経営にも不適切な運営になっているので、一貫した支援体制で利用者の快適な暮らしの場となる入所施設の制度に(新設)する願いは「終の住処づくり」と一体のものです。請願または意見書が提出できるよう各地区かぞくねっとより働きかけました。

結果、養父市会が国へ請願提出するに至りました。全国でも5市目になりました。その他兵庫県・神戸市・篠山市は検討中です。請願は受理されにくいことが判明し、意見書でもよいので、次へつながる活動が必要だと認識しました。
2. 行政機関への陳情と意見交換
厚労省をはじめ行政機関へは機会あるごとにひょうごかぞくねっとの考えは伝えました。
3. 組織の拡大と強化
家族の高齢化などで加入施設家族会の弱体化が進み、退会や休眠状態の家族会が増えているのが現状です。各地区かぞくねっとの研修会には未加入施設への案内状の送付や知り合いを通じての働きかけをしたが目に見えた効果は表れませんでした。
4. 活動力強化の研修会
近年最大の関心事である「65歳問題」を中央研修会で取り上げ研修を深めました。各地区かぞくねっとでもそれぞれ特色のあるテーマで研修に取り組みました。
5. 友誼団体との連携強化
共通の願いや、同じ障害者団体との連携は、強めることが大切と考え、兵庫県知的障害者施設協会と話し合いの会を持ちました。

また、全国知的障害者施設家族会連合会の全国大会には77名が参加し所期の目的を達成することができました。

6. その他

- ①チャブ(エース)保険の団体加入者は700人台を横ばいの状況ですが、協力金を全国大会参加者補助に充てることができました
- ②機関紙への広告掲載など互助会の会員を増員に協力することができました
- ③利用者・施設・一般の人も巻き込んだイベントとしてハートフルカーニバルを姫路で開催し大盛況で終えることができました(赤い羽根共同募金助成事業)

28年度の具体的活動

1. 中央研修会

- ・日時 H28年11月13日(金)
- ・場所 県民会館 県民ホール
- ・講演 「65歳問題を考える」
- ・講師 藤岡 毅 弁護士
- ・参加者 223人

2. オープン研修会(ハートフルカーニバル)

- ・日時 H29年2月5日(日)
- ・場所 姫路花の北広場
- ・コンサート 他
- ・アート展、作品販売等
- ・参加者 約300人

3. 評議員会&研修

- ・日時 H28年6月22日(水)
- ・場所 あすてっぷKOBE
- ・評議員会
- ・研修
「障害者差別解消法と合理的配慮」
講師 金 政玉 氏(明石市)
- ・参加者 約155人

4. たより発行 38号・39号

5. 理事会 3回 正副会長会 4回
臨時理事会 1回

6. その他の取り組み

- ①活動拡大への取り組み
- ②各地区かぞくねっとの活動の活発化、組織の充実強化
- ③エース保険の団体窓口
- ④外部団体の研修会等への参加
- ⑤外部団体と共同事業
福祉の集い・福祉大会・賀詞交歓会
ジョイフルコンサート

各地区かぞくねっとの活動(39号参照)

2016年度(平成28年度)決算報告

1. 収入の部

| 科目 | 金額 |
|--------|------------|
| 会費 | ¥5,134,000 |
| 賛助会費 | ¥44,400 |
| 寄付金 | ¥210,000 |
| 保険金手数料 | ¥370,260 |
| 義援金収入 | ¥1,256,926 |
| 雑収入 | ¥20,152 |
| 前年度繰越金 | ¥2,808,086 |
| 合計 | ¥9,843,824 |

2. 支出の部

| 科目 | 金額 |
|--------|------------|
| 会議費 | ¥229,260 |
| 旅費 | ¥334,710 |
| 印刷費 | ¥709,776 |
| 通信・運搬費 | ¥332,784 |
| 渉外費 | ¥102,000 |
| 研修費 | ¥2,182,369 |
| 事務消耗品費 | ¥519,048 |
| 負担金 | ¥7,046 |
| 分担金 | ¥178,500 |
| 人件費 | ¥1,432,580 |
| 義援金支出 | ¥1,256,926 |
| 雑費 | ¥18,016 |
| 次期繰越金 | ¥2,540,809 |
| 合計 | ¥9,843,824 |

★赤い羽根共同募金・神戸新聞厚生事業団から助成金をいただきました。

★義援金は全施連が実施した熊本地震義援金に協力したものです。全国で6,278,991円が集まり、熊本県知的障害者施設家族会連合会を通じて、羅災知的障害施設家族会に渡しました。ご協力ありがとうございました。



2017年度(平成29年度)事業計画

1. 24時間一貫した快適な入所施設の新設の請願の継続

H24年に全施連で検討を重ねて得た結論は《一貫した支援体制で利用者の快適な暮らしの場となる入所施設の制度に(新設)する》でした。新設とは新しい施設を建てることではなく、また現在の入所施設でもなく、まさに新しい生活環境づくりです。それは「終の住処づくり」と一体のものです。これを実現するための請願ですが、各議員も全員一致の原則により受理が難しいことが分かった現在、請願だけでなく、意見書や要望書という形でも政府へ提出できるよう働きかけていきます。各会派議員との意見交換も可能な限り進めます。

《具体案》

- ① 各理事より請願書を県内町村議会に提出する。ひとりでも多くの議員に説明、説得する⇒議会を通すことは難関でもその過程で、理解を得ることが大切と考える。請願が無理なら、意見書・要望書にしていってもよい。
- ② 各地区かぞくねっとで会員に請願の趣旨を周知し全施連ひょうごかぞくねっとの活動が、親たちの切なる願いを訴えていることを理解してもらう。

2. 行政機関への陳情と意見交換

地方自治体はその権限で国の制度に上乗せすることもできる仕組みになっていますので、陳情や要望、意見交換したりすることに効果があります。また、県市町の議員に働きかけると県市町の障害福祉課へも話が伝わります。そこで県市町へも請願の主旨を説明することが大切です。

《具体案》

- ① 各理事より請願書の内容を行政機関にも提出し、理解を深める。
- ② 各市町の担当部署との関係を深め、請願の趣旨を周知し、全施連、ひょうごかぞくねっとの活動が、親たちの切なる願いを訴えていることを理解してもらう。
- ③ 各地区かぞくねっとを中心に各市町に、身近な要望を伝えていく。

3. 組織の拡大と強化

ひょうごかぞくねっとの組織や活動を会員や未加入施設に理解・協力を求めるためにPRのためのしおりを作って配布します。さらに例年に引き続き各地区か

ぞくねっとの会合への案内等きめ細かな活動をしていきます。その中で要望事項を実現していくことが組織の拡大と強化の最大の要件になります。

《具体案》

- ① 組織検討委員会を中心にPRちらしを作って、会員及び未加入施設に配布する
- ② 【1】の請願の趣旨を周知し、活動への理解を求める
- ③ 賛助会員の確保
- ④ 機関紙やホームページの充実⇒機関紙を県下すべての施設家族会に送る
- ⑤ チャップ保険の勧誘

4. 活動力強化の研修会

「親亡き後」に備えて少しでも安心できる制度や仕組みを考えて活動する源になるのが研修会です。研修会を通して共通理解を深め共に活動していきましょう。

《具体案》

- ① 評議員会の研修・中央研修・オープン研修に障害福祉関係の論客を招き研修会を実施する
- ② 各地区かぞくねっとでは各地区の特色を踏まえた研修会を実施する
- ③ ①②を各会員へ周知する⇒例各施設家族会で①②の報告ができるような手立てをする

5. 家族会内部問題学習会

入所施設利用者家族と通所施設利用者家族の思いや願いは微妙に異なります。そこで入所と通所、それぞれの悩みや問題点を出し合い、解決に向けて知恵を出し合ったり、要望につなげたり実のある学習・交流・情報交換会を企画します。

《具体案》

- ① 各地区かぞくねっとでフリーな話し合いの会を持ち、共通理解と次への活動につなげます。

6. 友誼団体との連携強化

福祉向上を願う団体は数多くありますが、共通の願いや、同じ障害者団体との連携は、強めることが原則です。

《具体案》

- ① 全国知的障害者施設家族会連合会の活動に積極的に参加する
- ② 福祉7団体の会(福祉のつどい・賀詞交換会)を主催団体として積極的に取り組む

- ③ ストップの会の構成団体とし積極的に活動する
- ④ 育成会をはじめ各種団体の活動に後援団体として協力する

7. 全施連ワンコイン募金 (P10.11)

「親亡き後」・「終の住処」「生涯途切れない支援」「意思疎通」等々、国の描く福祉像との違いに「ノー」とは言っても「なぜ？」に答えきれないのが親家族です。そこで全施連は顧問プロジェクトチームを組み、H24年に「新しい入所施設のあり方提言」を作成しました。しかし、その後も制度はめまぐるしく変わり、もう少しわかりやすい提言がほしいとの意見もあり「新しい生活施設のあり方提言Ⅱ」を作成中です。その後押しをするために全施連ワンコイン募金に協力します。入所施設が中心のように思われますが、実は在宅やグループホーム利用の方の大多数が、親亡き後入所施設の利用を望んでいます。その意味から、現在入所施設を利用している人たちよりもグループホームや在宅の人たちの安心作りの側面が大きいものと位置付けています。

8. その他

- ① チャブ保険の団体加入者を増やし、暮らしの安心を守る
- ② 互助会の会員を増員に協力し、利用者の暮らしを守る

9. 理事交替について

馬場 正一 氏 → 西 博司 氏
(兵庫県社会福祉協議会 人事異動の為)

2017年度(平成29年度)会計予算

1. 収入の部

| 科目 | 金額 |
|---------|------------|
| 会費 | ¥5,000,000 |
| 賛助会費 | ¥50,000 |
| 寄付金 | ¥150,000 |
| 保険手数料収入 | ¥350,000 |
| 雑収入 | ¥10,000 |
| 前年度繰越金 | ¥2,540,809 |
| 合計 | ¥8,100,809 |

2. 支出の部

| 科目 | 金額 |
|--------|------------|
| 会議費 | ¥250,000 |
| 旅費 | ¥300,000 |
| 印刷費 | ¥740,000 |
| 通信・運搬費 | ¥360,000 |
| 渉外費 | ¥100,000 |
| 研修費 | ¥2,100,000 |
| 事務消耗品費 | ¥550,000 |
| 負担金 | ¥55,000 |
| 分担金 | ¥200,000 |
| 人件費 | ¥1,700,000 |
| 雑費 | ¥10,000 |
| 予備費 | ¥1,735,809 |
| 合計 | ¥8,100,809 |

助け合えば力となる 互助の精神！！

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設利用者互助会

◆ 入会金 10,000円

◆ 保険料 12,000円(年間)

【入院保障保険の保証内容】

- 付添介護保険金(付添人) 日額 上限8,000円(被保険者負担実費×付添日数)
- 付添保険金(家族) 日額 3時間以上12時間未満(2,500円×付添日数)
- 日額 12時間以上(5,000円×付添日数)
- 差額ベッド費用保険料 日額 上限5,000円(負担実費×差額ベッド利用日数)
- 死亡保険金 保険証券記載の死亡保険金額10,000円

【1会計年度(4/1~3/31) 90日を限度・通算限度日数900日】



互助会は、まだ知的障害者が入れる保険が無かったころ、入院した際に負担を求められる室料と付添いについての補助を目的に、助け合おうという相互扶助の精神で立ち上げた組織です。他の保険会社とは設立の志が違います。皆さんで守り育ててほしい組織です。

＊.....＊.....＊..... **かぞくねっと活動計画**＊.....＊.....＊

阪 神

《活動抱負》

- 65歳問題をわかりやすく紐解く
講師を招かずシンポジウム形式で
- 通所問題：親子の高齢化に伴い親が急に倒れた場合
緊急一時で対応できるのか？ 通所ができるのか？
グループホームで対応できるのか？ 就労支援事業
所にいつまで通えるか？
- 医療問題：障害者が高齢になり医療が必要になって
きている現実、施設はどう対処してくれるのか？
- 平成30年の障害者法の法改正に向けての心構え。

《研修等主な活動計画》

研修会 H29年中に
評議員会 年6回ぐらい
理事会 年2回

こ う べ

《活動抱負》

【基本方針】

- 平成28年10月厚生労働省が「障害者総合支援法施行3年後の見直等について」の通達により、はっきりと「高齢障害者の介護保険サービスの円滑な利用」を提示している。
今一度障害福祉施策と介護保険とは全く異なるものであることを強く訴え、親亡き後も安心して障害者施設を利用できるよう、親が元気なうちに運動を強固なものにしたいものです。高齢障害者の特性を熟知した、支援の内容の検討も必要な時期になりました。

【事業計画】

- 障害者総合支援法3年を目処にした見直しに、利用者、家族の思いが実現できるように活動する。
- ひょうごかぞくねっと 全施連（全国的障害者施設家族会連合会）の活動に積極的に参加し、地域性を生かした活動を行う。

【組織強化】

- こうべかぞくねっとの組織の充実（家族会に理事の参加）
- 神戸市内未加入施設への呼びかけ、賛助会員獲得の啓蒙活動
- 各施設の情報共有と問題点の早期解決、会員相互の

研修交流、他団体との連携、行政との連携

《研修等主な活動計画》

- 研修
 - 当番園による研修会
幼児部会研修会を実施する
 - オープン研修会（必要に応じて開催）
- 【理事会・会長及び三役会】
 - こうべかぞくねっとの運営について
 - その他

東 ・ 北 播 磨 ・ 淡 路

《活動抱負》

施設会長交代で、引き継ぎがうまく出来ていない様
そのために、中央・地区研修会の参加者人数減少（施設が偏ってしまいがち）、理事で手分けしての声掛け
していききたい。

ひょうごかぞくねっととの関連問題点等を地区かぞくねっとでも話し合って行きたい。

各施設家族会の問題点等を中心に置いて進めたい。
全国大会の参加（秋田）呼びかけ

《研修等主な活動計画》

5月 会長会（総会）
8月 施設見学
H30年2月 地区研修会
稲美町 こぼと園
会長会 9月・H30年1月・3月
理事会 4月・6月・8月・11月・H30年1月
計5回

西 中 播 磨

《活動抱負》

新年度への移行はそれぞれ各施設が新体制を敷き、代表者が出席した5月24日の第2回理事会、第1回
会長会から、実質スタート。第1回西中播磨かぞくねっと
会長会では、平成28年度の活動・決算報告とH29
年度の活動計画を提示。年間を通して全施連・ひょう
ごかぞくねっと等の、平成29年度年間活動計画に基
づいて、西中播磨かぞくねっとの、取り組むべき基本
姿勢を明確にして、意見集約を諮り、年間活動の具体
的な取り組みを種々検討してまいります。

特に高齢化社会の現状は、各施設家族会の組織化が

困難という声が聴かれ、かぞくねっと退会防止への手も打てていない現状です。組織拡大が喫緊の課題ではありますが、退会防止も含め、各施設とタイアップして現状を把握し、緊急に手を打つ必要があります。これまでの年数回の理事会・会長会のみでは対応不十分なので、各施設、家族会の現状を掌握、PRパンフレットなどを活用し、施設訪問を推し進める必要が急務と考え、その対応を検討して即行動を起こしてまいります。

《研修等主な活動計画》

理事会

4/26・5/24・7/19・7/26・9/27

H30 2/9・2/21

会長会

5/24・7/26・9/27

H30 2/21

研修会 10/18

姫路市ルネス花北障害者体育館

担当施設〈姫路通園センター〉

但馬・丹波

《活動抱負》

我がかぞくねっとは、わずか6施設で運営している訳です。当然人材不足になって来て、会長会も長い間同じ人たちが運営している訳ですが、もっと活性化するためにはやはり、新しい風が入って来なくてはなりません。その為に29年度は組織拡大をテーマに上げて、未加入施設への加入を働きかけて行きたいと思っています。その為には今何をするのかを会長会等で具体的な活動を議論しながら前進して参りたいと決意しております。

《研修等主な活動計画》

理事・会長会

4/8・7/15・8/26・12/9・H30 3/17

計5回

施設見学 9/2

研修会 11/4

浜坂親子1泊旅行 11/23～11/24

おすすめ! 互助会+チャブ保険 (旧エース保険)

◆エース保険の社名が変更になっています。

(新社名) Chubb 損害保険株式会社 略称: チャブ保険

世界最大級のスイスの保険会社エース・リミテッドがチャブ保険を買収し、チャブ・リミテッドに改名することになりました。保険内容・手続きについての変更はありません。

担当は
出雲保険 ウェルフェア事業部
松島 省三
03-5332-3960

エターナル
濱中 恭
078-241-4201

| 《例》 | 保険料 | ケガ入院 (1日) | 7日間入院した場合 |
|--------------|---------|----------------------------|--|
| 互助会 | 12,000円 | 付添婦 8,000円 個室使用料 5,000円 | 8,000円×7= 56,000円 5,000円×7= 35,000円 |
| チャブ保険 (Cプラン) | 6,520円 | 1,400円 | 1,400円×7= 9,800円 |
| 合計金額 | 18,520円 | 14,400円 | 7日間 100,800円 |

知的障害者福祉総合補償制度

【兵庫県知的障害者施設家族会連合会】専用プラン

| 補償内容 | Aプラン | Bプラン | Cプラン |
|---------------------------|---------|---------|---------|
| 年間保険料 | 11,730円 | 9,730円 | 6,520円 |
| ケガ入院保険金 (1日) 180日限度 | 2,900円 | 2,700円 | 1,400円 |
| ケガ通院保険金 (1日) 90日限度 | 1,900円 | 1,600円 | 800円 |
| 後遺障害保険金 (最高) | 188万円 | 181万円 | 187万円 |
| 死亡保険金 | 188万円 | 181万円 | 187万円 |
| 賠償責任補償 (限度額) 1回の事故について | 5,000万円 | 3,000万円 | 3,000万円 |

★何度、物を壊しても制限なく補償します!

★死亡保険金も大きな特徴です!!



法人後見5年の歩みから

特定非営利活動法人成年後見・こうべかぞくねっと・きずな

理事長 高野 國昭

長年勤務していた社会福祉法人を退職し、社会に貢献できる活動を何かしたいと考えていた時に知人から、神戸市内の知的障がい者の成年後見を引き受けられるNPO法人を立ち上げたいので、仲間に入らないかとのお誘いを受けたのが、成年後見に係るきっかけとなりました。そして理事長を引き受ける事になってしまいました。

私たちの法人は2012年5月31日に設立され、現在43名(成年後見27名・保佐9名・補助1名・任意後見6名)の方々の後見をお引き受けしております。

ご本人の方々の親族は高齢の方が多く、今までに5人の方々が亡くなりました。

お葬式をして下さる親族が被後見人のご本人しか無いので、ご本人が変わって私たちがお葬式をさせていただいた方が3ケースありました。そのうちのお一人のご遺骨を今も法人の事務所でお預かりしています。9月にはお墓に納骨する予定です。

成年後見人を付けていなかったら、葬儀もできなかったのではないかと思います。遺品の整理や、住宅の売却もさせていただきました。

また、悲しいことですが、被後見人ご本人が亡くなられた方が2人おられ、一人の方の葬儀をさせていただきました。ご遺骨を引き取り、私たちの法人の事務所ですばらくお預かりしていました。葬儀を終えて火葬場から事務所にご遺骨を持って歩いている時、突然私の頭上を風がサーッと吹きぬけました。きっと「ありがとう」の挨拶をしてくれたのではないかと思います。

後日ご遺骨は私の属している教会の墓地に埋骨させていただきました。(私も死んだら同じ所に埋骨される予定です。)ご本人が残された財産を親族にお渡しして後見業務を終了いたしました。

この方の後見人を引き受けて本当に良かったと思っています。

成年後見の説明とお勧めを、施設の家族会等でさせていただいていますが、必要性を感じていない方々が多くおられます。人の命はいつどうなるか分かりません。親亡き後を誰に託するのか、ご兄弟や頼りになる親族の方がおられれば、その人に後見人になっていただく事をお勧めしています。私たちの事務所にご家族の方が来られて、家庭裁判所に出される申立て書の作成のお手伝いをさせていただき、ご家族が後見人になられたケースが何件かあります。

司法書士や弁護士に申立て書の作成を依頼しても良

いですが、10万円を超える作成料の支払いが生じます。申立て書の作成は難しい事はありません。時間をかければ誰でもできます。事務所に来ていただければお教えいたします。

後見人になっていただく親族が誰もいなければ、ご家族以外の第三者にお願いする事になります。

私たちは法人でお受けしていますが、法人後見の利点は多くの方がご本人に係る事で、透明性があり、柔軟性があり、継続性がある事です。当法人は現時点で理事15名・サポーター13名の計28名で後見活動をしています。

ご本人お一人に理事とサポーターがペアを組んで2人で対応させていただいています。最低月に1回は面談してご本人の状況を知り、ご要望等をお聞きするようになっています。

知的障がい者の場合は、財産管理より、身上監護が重要だと考えています。ご本人が持っている財産を単に管理するだけではなく、本人の生活が豊かになるように有効に活用する事が大切だと思っています。

旅行の好きな人には、ご本人の希望を聞いて、実現できるように支援しています。海外旅行された方もおられます。

施設の職員とも連携して、個別支援計画やモニタリングの説明を受け、ご本人の立場に立って、提案をさせていただいています。そんな中で、ご本人の希望で入所施設からグループホームに移った人が2名おられます。「もう施設には戻りたくない」と言っています。

また、グループホームを出て地域で生活している方が3名おられ、そのうちの2人は結婚され赤ちゃんが生まれました。2人の結婚式に招待されて出席させていただきましたが、式の中で花嫁が「私を生んでくれてありがとう」と母親に挨拶され大変感動しました。

今後ご本人の幸せを実現する為、法人のスタッフ・関係機関と力を合わせて後見活動に励んで行きたいと思う日々です。

成年後見に関する事でしたら、いつでもご相談に応じますので遠慮なくお申し出ください。また、サポーターとして活動していただける方を募集していますのでご連絡いただければありがたいです。知的障がいの事を良くご存知の皆さま方に助けていただきたいと思います。かぞくねっとの会員さんで既に、理事やサポーターとして活躍されている方が多くおられます。

今後も私たちの法人にご支援とご指導を頂きますよう宜しくお願い致します。

在宅・通所利用の人たちがかかえる現状

加古川市立つつじ園 家族会 会長 吉岡 京子

私たち家族会では、園に対して年に一度要望書を出しています。

親の想い(現状)とは重なる事柄が多いように思います。一部ですが紹介します。

園側からもアンケート(年間行事等・要望)もあります。

〈保護者から園への要望〉

- 土曜・日曜日の日中一時支援
高齢になって車の運転しなくなると出かけたりすることも難しくなり、他の事業所にも空きがないので預けられない。
- 終了時間の延長
- ショートステイの設立
なかなか空きが無いため利用できない。
慣れている支援員・場所なら利用者も親も安心出来る。
- 支援員の出入りが激しく利用者が不安定になるので施設の対応。
- 有資格者の採用
利用者ひとりひとりの特性を理解しての支援。

●何歳まで通えるかが不安(65歳以上支援可能性は)

〈市障害福祉課への要望〉

- 移動支援・居宅サービス等の時間を増やしてもらいたい。
- つつじ園にショートステイ設立を。

通所施設に通っている利用者はいずれ、誰かのお世話にならなければならないことは解っているのですが、どのタイミングでどのような施設に預ければいいのか保護者が考えなければいけないようです。

国は入所施設は作らないと言っていますが、グループホームで生活出来る子供達ばかりではない事を解って欲しいと思います。

最後に要望に対して園は必ず回答して頂いております。無理なことでも時間をかけて話し合い一歩ずつですが通いやすい施設(利用者の笑顔が絶えない)になる様に、協力していきたいと家族会は考えております。

加古川つつじ園の暮らし



サッカー



学習クラブ



農作業

印刷物作成に関するご相談は.....

DG デジタルグラフィック株式会社

〒650-0043 神戸市中央区弁天町1-1

TEL.078-371-7000 FAX.078-371-7001

- 記念誌 ●社内報 ●カタログ ●チラシ ●プリペイドカード
- スクラッチ ●カラー年賀状 ●その他一般印刷

[E-mail] win@dgdg.co.jp / mac@dgdg.co.jp

[URL] <http://www.dgdg.co.jp/>

全国知的障害者施設家族会連合会報告

★第6回 全国知的障害者施設家族会連合会総会

全施連の平成29年度社員総会が6月13日(火)～14日(水)に大阪市で開催されました。

1日目は、社員総会前の理事会を開催、理事会で承認した議案について総会審議を進められました。2日目は障害者福祉制度の見直しに関する直近の課題と意見交換、各県連との情報交換を行い、加盟県相互の認識が深められました。

全施連組織のあり方など 5議案を提案可決

①②平成28年度事業報告・会計決算報告

③熊本地震義援金について

28年4月14日16日未明に最大震度6強の地震が発生しました。

熊本県内の障害者支援施設も全倒壊が多数出ました。

全施連では、義援金を募り、合計6,278,991円が集まり、熊本県連を通じて被害のあった知的障害施設へ配布しました。

④H29・30年役員改選(副理事長を3名から4名へ)

理事長 由岐 透(留任・兵庫県)

副理事長 南 守(留任・高知県)・副理事長 石川 誼(留任・北海道)

副理事長 大矢 武久(新任・神奈川県)・副理事長 渡邊 民雄(新任・熊本県)

監事 大野真知子(宮城県)・監事 平尾 要(山口県)

なお、永年全施連の組織強化の礎を築いていただきました、副理事長岩本邦雄様(神奈川県)は退任をされました。永年の任務に感謝を申し上げます。ご苦労さまでした。

⑤組織のあり方 委員会活動部会導入

全施連の法人の業務を分担し、全員参加で責任を分担し協働する組織にするために、政策運動部、広報情報部、組織財政部、研修部の4つの柱に分け、各部の部長には四人の副理事長があたり、各部にそれぞれ1名の委員で常任委員会を組織する。

⑥平成29年度事業計画案・会計予算案

前年度から引き続く事項、介護保険優先の原則の撤廃の新規事項など十項目の提案があり、承認されました。最優先活動事項・具体的活動・財政の確保・組織のあり方、名称などの問題を残したままになりましたが、早急に理事会を開くことで承認されました。

⑦「新しい入所施設のありかた提言パートⅡ」活動支援500万円募金について

「新しい入所施設のありかた提言パートⅡ」活動支援500万円募金のお願い

私たちは親亡き後、一人では生きていけない知的障害者が地域の中で社会に開かれた入所施設で暮らすことができることを望んでいます。支援が必要なすべての人にその人が必要とする支援が受けられる制度が必要です。

「新しい入所施設のありかた提言」を行い、5年が経過いたしました。この提言は知的障害者のしあわせを願う全施連の運動の理念として評価を得ました。しかし、この理念を具体化したものが必要であると多くの会員からも声があり「新しい入所施設のありかた提言Ⅱ」の作成に取り組んでいます。

「新しい入所施設のありかた提言Ⅱ」の作成には500万円の資金が必要です。

提言の作成には研究者、施設職員、親、家族がプロジェクトチームに参加し、何回も、何回も議論しながらまとめています。利用者、家族、施設関係者にも指針となるようなものをつくりたいと思っています。今回の募金は下記の目的に限定し使用いたします。つきましては会員から一人500円の支援募金を心よりお待ちしております。

記

1. 「新しい入所施設のありかた提言パートⅡ」作成に係るPT(プロジェクトチーム)会議開催の旅費、宿泊費、会場費

2. 資料収集印刷費用
3. ボランティアで協力いただいている学者、研究者に支払う謝金
4. 目標期限 平成29年10月末

■500万円募金の振込先

◆三井住友銀行 神戸駅前支店

口座番号 313-7785049

口座名称 兵庫県知的障害者施設家族会連合会 会長 由岐 透

※この支援募金活動を通して、傘下加入施設家族会に全施連の思いや活動を説くことは組織強化・拡大にもつながります。組織の強化はPT会議が作る提言Ⅱの実現へ大きな力となります。何より、知的障害を持つわが子らの幸せにつながるかもしれない一歩ととらえて、財布の中のワンコインをご寄付いただきたいと思います。

★第13回 一般社団法人 全国知的障害者施設家族会連合会全国大会秋田大会

1. 大会テーマ 『新しい生活の場を語ろう!』

2. 開催趣旨

障がいのある方々の重度化・高齢化が進行しています。また家族の高齢化も深刻で、在宅で我が子を支えることが困難になってきていると思われまます。

我が子の将来を悲観して心中するなどの悲惨な事件も後を絶たない状況です。さらには障害者をめぐる人権侵害や虐待、痛ましい殺傷事件も起きてきており、障害者を取り巻く環境は厳しさを増してきている状況です。24時間、365日、どんなに障害が重くても、高齢になっても、本人、家族が安心して生活できる場を作ることが急務となっています。

国は「親亡き後」として地域生活支援事業を推奨し、障害者支援施設の定員削減を進めてきています。しかし、重度化・高齢化の深刻さから、障害者支援施設におけるセーフティネットは欠かせず、障害者支援施設が地域生活を支える拠点として、その役割がますます求められてきています。

私たちは障害者の権利を守り、意思決定支援や、安心して生活ができる場とはどうあるべきかを考え、本大会を開催いたします。

3. 日 程

平成29年10月3日(火)～4日(水)

4. 会 場 秋田キャッスルホテル 秋田県秋田市中通1-3-5

5. 大会参加費 6,000円・情報交換会費 7,000円

※厚生労働省による行政説明もあります。

※大会が近付いていますが、参加ご希望の方はひょうごかぞくねっと事務局までご相談ください。

電話 078-371-3930 mail h-kazoku-net@alpha.ocn.ne.jp

知的・発達障がいのある方に
毎日の安心をお届けする。

それが私たちの願いです。

詳しい資料のご請求は
TEL 078-331-6751(代)

○募集代理店

☎(株)クワイドホケンセンター

〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通1-2-19
東洋ビル3階

個人でご加入いただける、安心の保険

ぜんちの
あんしん保険

少額短期健康総合保険(無告知型)

○引受保険会社

ぜんち共済株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号
岩本町シティプラザビル5階

西・中播磨かぞくねっと

「親の想い」

この子の本当の幸せは、愛情溢れる 支援員にいっぱい声を掛けてもらうこと！

社会福祉法人姫路学園（入所・通所・就労施設）
通所利用者 母

山中 直美

障害を持った娘（こ）と共に暮らす親として日常、思っていること的一端を「たより」に載せていただくことに、心から感謝申し上げます。娘（こ）は、昭和48年生まれ今年で44歳になります。無痛分娩で生まれ、2歳の頃知恵おくれとの診断を受けました。幼い頃は、毎日この子の世話に振り回され、当時まだ紙オムツが出回っていないときでしたので、特に夜中は何度も起こされ睡眠不足は日常茶飯事で、言葉では言い表せないような手のかかる育児でした。ある時、朝目が覚めると「アッ！いない」と外へ飛び出して見ると、家の前の田植えの終わったばかりの田んぼの中に泥んこで、たたずんでおりました。何とか学校へ上がりましたが、ほとんど意思表示ができず、目を離すとひとりでどこかへ迷子になって何回も大騒ぎになりご迷惑をお掛けしました。言葉はその頃は「お母さん」「〇〇ちゃん」「咲いた～咲いた～」の片言は発しておりましたが、成長するにつけて、その単語も出なくなり今は、喜びの表示でしょうか、体を揺り動かして奇声を上げるだけです。作業所にも通ってくれましたが席にじっとして作業もできない状況でしたので、指導員の方をかなり手こずらせご苦労されたみたいです。ある方の勧めで漢方薬を服用しはじめてから徐々に落ち着いてきて、それまでは排尿・排便もままならなかったのですが、今では生理現象の際の意志をちょっとしたサインで知らせてくれるまでになりました。でも、明瞭な言葉はありませんので様子・表情から汲み取るしかありません。

以前はかなり遠い施設に、間接送迎で通っていましたが今は、車で10分ほどの姫路学園になりましたので時間的に大助かりです。娘たちは毎日

が人の手助けがなくては生きていけません。施設の支援員さんたちは毎日大変なご苦労を担って下さっています。親として本当に有難く感謝しております。ただ支援員さんの考え方に対して差があり対応が異なるようです。利用者個々に対してのニーズを把握して、適切な支援を期待したいのです。例えば「この子は何も出来ないから」「やる気がないから」等々支援員がさっさとやってしまうのはその子の「やる気」を摘んでしまうことにならないでしょうか。「あなたは何もしなくていいよ」と無言でサインを送っているようなものです。親の立場から見れば決して甘やかす必要はありませんが少しの変化を見て声を掛け自分で出来たら褒めて上げるなど本人のやる気を高めるバックアップをお願いしたいのです。

家にいる時は、極力声掛けをして面倒でも本人が出来るとは余計な手を出さないように努めています。園においてはたくさんの種類のカリキュラムが用意され自分の好きな活動に参加できるようになっています。娘は周辺散歩と昼食が一番楽しいようです。とにかく運動不足になりがちで、体力低下を懸念しています。興味をそそる運動・ゲーム等を多く取り入れて貰えたらと願っています。今、親が徐々に高齢になってこの先が大変不安です。日常の生活もあり、障害者保護との両立のためにも日中ショートとショートスティは絶対必要です。そして、親に代わるような愛情いっぱいの支援員に恵まれて初めて生きる喜びを満喫できるのではないのでしょうか。

私は、今日もこの娘（こ）の幸せのために汗して働き精一杯生きて生きて生き抜いています。

リレー随筆

「お星さまになった僕のお母さん」

佐山 ふみのり (かすが育成苑)

(平成29年4月15日 代筆者: 但馬丹波かぞくねっと理事 佐山 忠行)

僕の母は4月13日に兄とお父さんの二人に看取られお星さまになりました。しかしながら知的障害(程度区分4)の僕の心では死そのものが理解できない。

4月15日の葬式前の日に柩の中で眠る優しいお母さんにであいました。僕は母を起こしましたが目を覚ましません。

どんな病気かお父さんに聞きました。「敗血症」という肺に水が溜まり心臓が動かなくなり、やがて全身が動かない怖い病気で助かっても僕のように障害者になります。

僕はおかあさんといっしょの思い出がたくさんたくさんあります。養護学校時代は〈思い出の歌〉を学生時代コーラス部だった美しい声がきけました。

大阪の玉造にあるスピーククリニックにも月4回ほど4年間近く電車で通いました。大阪駅で迷子になり曾根崎警察署に保護され、迷惑も1度や2度ではありません。その頃は、お父さんは大阪の堂山町にあるT大阪北支店に勤めていて仕事を抜けだし探してくれたこともありました。

9歳の時に今の春日育成苑にはいりました。夏休みと正月休み毎日どこかにでかけた楽しかった思い出もあります。しかし休み終わり苑にもどる時、ダダをこね困らせていました。あれから45歳になりましたが今でも覚えています。

お母さんが亡くなる13日に新しい運転免許証が届きましたが、又僕をドライブにつれて行くつもりだったかもしれせん。

僕は「あおぞら」の作業所で頑張り

ます、どうかお星さまになっても見守って下さい。お母さんは叔父さんの影響で学生時代聖歌隊だった讚美歌を聴かせてください。夜空を見上げていますから、僕は大好きな安室奈美恵の歌でお応えします。

葬式の前日に育成苑の計らいで許可をいただきました。〈彼は少しの漢字の読み書きが出来るので別れの手紙を書かせてやりました。「お母さんありがとう」と手紙をしたため、柩の中に入れた後、線香を供え、手をあわせました。この9文字にこめられた言葉を彼がどこまで母の死を受け止めているか彼の心中を覗くことは私にはできません。「あまり無理なお願いをして亡き母や神様を困らせてはアカンのえ」と私は彼を諭すつもりです。〉

敦子 病名「敗血症」73歳

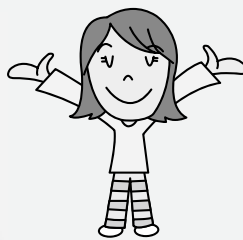
4月に入り言葉にろれつが回らず症状が悪い状態になった。特に今年に入り体の痛みがひどくなった。そのため医院、市民病院などあらゆる手段(CT、エコー、MRI、心電図、レントゲン)を講じるも快方に向かうことなく死去。

13日朝、妻の異変に気づき病院に運ぶ途中、心肺停止状態になりました。その後、救急車で県立病院へ搬送、あらゆる手段で救命措置を講じるも午後11時46分逝去。





わたしたちの がんばり



25

社会福祉法人 尼崎武庫川園 松の園

武庫の清流と松の緑、心なごむ美しい環境、限りない優しさがここに在ります

現在男性22人、女性23人の方にご利用いただいております。平均年齢は52歳で、高齢ゆえの課題もそろそろ見えてきました。松の園では老いを受け入れて、その「ライフステージに応じた豊かな暮らし」を実現していきたいと考えています。まず、身体の機能維持の為に理学療法士によるリハビリテーションを充実させました。また、病気の早期発見のために、内科・精神科嘱託医の月1回の往診、成人の80%は確るといわれる歯周病予防のため、歯科医・歯科衛生士による週1回のオーラルケア、耳鼻咽喉科医の年2回の定期健診をおこない、専門職との連携を深めながらご利用者の健康を支えています。

生きがいと自立

生産活動としてショッピングバッグや展示会で配布される紙袋の製作加工をしています。ご利用者個々の能力にあわせ、役割分担をし協力して製作しています。

広々とした作業スペースと共に、大きな音や声が気になる方のために、少人数で取り組めるフロアも用意しています。労働の対価として工賃を得ることは素晴らしい事です。



生産活動



創作活動では、おやつ作り、昼食作りが人気です。

手芸・音楽・園芸・美術工作など、好みに合わせて自由に気軽に参加していただけます。

一日のスケジュール

| | |
|-------|-----------|
| 7:00 | 起床 |
| 8:00 | 朝食 |
| 9:30 | 生産活動 |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:00 | 生産活動 創作活動 |
| 14:30 | おやつ |
| 15:30 | 入浴 |
| 17:45 | 夕食 |
| 22:00 | 就寝 |

美術工作



昼食作り

地域の方々と



フラダンス教室

毎月講師の方を招き、余暇時間を使って本格的なフラダンスを楽しんでいただいています。お祭りでは、日頃のレッスンの成果を披露しています。衣装もそろえました!!

ミュージックセラピー

セラピーのスタッフの方々を招き、音楽を通して体全体を使ったレクリエーションを実施していただいています。



主な年間行事(29年度)

| | |
|-----|----------------------------|
| 4月 | お花見 家族懇談会 |
| 5月 | ボーリング大会 |
| 6月 | ディズニーランドへ旅行 外食(焼き肉・お寿司) |
| 7月 | 七夕会 家族懇談会 |
| 8月 | 夜間外出 夏祭り |
| 9月 | ボーリング・カラオケ大会 松の園フェスティバル |
| 10月 | 武庫川園祭り 外食(バーベキュー) |
| 11月 | 旅行、福祉の集いバザー |
| 12月 | クリスマス会(ホテルバイキング) 家族懇談会 |
| 1月 | 新年会 |
| 2月 | 社会見学 外食 |
| 3月 | ボーリング・カラオケ大会 家族懇談会 |



運動会



夏祭り



夜間外出



ボーリング大会



クリスマス会



ノホテル甲子園

一泊旅行



浅草



ディズニーランド



総勢67名で夢の国に行ってきました。閉園までパレードや花火をご家族の方も一緒に楽しみました。

スヌーズレン

スヌーズレンとは

障害を持つ方が感じ取りやすい感覚刺激(光、音、匂い、感触)を用いた環境の中で、利用者と支援者が楽しみや安らぎを共有します。ストレスや疲労軽減にも一役かっています。



H29年度 ひょうごかぞくねっと活動予定

| | 月 | 日 | 曜日 | 行 事 | 内 容 | 会 場 |
|--------------|----|----|--------|------------------|----------------|-----------|
| ひょうごかぞくねっと関係 | 4 | 17 | 月 | 第1回正副会・委員長長会 | 年間計画 | 事務所 |
| | 4 | 26 | 水 | 第1回理事会 | | 福祉センター |
| | 5 | 24 | 水 | 28年度会計監査 | | 事務所 |
| | 6 | 23 | 金 | 評議員会 | ひょうごかぞくねっと総会 | あすてっぶKOBÉ |
| | 7 | 7 | 金 | 第2回正副会長・委員長会 | | 事務所 |
| | 7 | 19 | 水 | 第2回 理事会 | 中央研修会案・ 全国大会 | 福祉センター |
| | 9 | 6 | 水 | 第3回正副会長・委員長会 | | 事務所 |
| | 10 | 3 | 火 | 全施連全国大会(1日目) | 全施連の研修会・討論会 | 秋田市 |
| | 10 | 4 | 水 | 全施連全国大会(2日目) | 全施連の総会・講演会・研修会 | 秋田市 |
| | 12 | 4 | 月 | 中央研修会 | 講演会 | 県民会館 |
| | 12 | 23 | 土 | ジョイフルコンサート | | 松方ホール |
| | 1 | | | 第4回正副会長・委員長会 | | 事務所 |
| 2 | 9 | 金 | 第3回理事会 | 29年度の反省と30年度に向けて | 市福祉センター | |

| | 月 | 日 | 曜日 | 行 事 | 内 容 | 会 場 |
|-------|-----|----|------------|--------------|-------------------|---------|
| 全施連関係 | 5 | 16 | 火 | 正副理事長会 | 社員総会に向けて | 神戸事務局 |
| | 5 | 26 | 金 | 厚生労働省 | 平成30年度報酬改定に関する説明会 | 東京 議員会館 |
| | 6 | 13 | 火 | 理事会・ 定時総会 | 総会・年間計画・研修 | 大阪市 |
| | 6 | 14 | 水 | 定時総会 | 総会・年間計画 | 大阪市 |
| | 7 | 31 | 月 | 正副理事長会・常任委員会 | 第2回理事会・組織改革にむけて | 神戸事務局 |
| | 9 | 4 | 月 | 第2回理事会 | 29年度の具体的活動について | 大阪市 |
| | 9 | 5 | 火 | 第2回理事会・理事研修 | 直近の情勢把握と対応について | 大阪市 |
| | 10 | 3 | 火 | 全施連全国大会(1日目) | 全施連の研修会・討論会 | 秋田市 |
| | 10 | 4 | 水 | 全施連全国大会(2日目) | 全施連の総会・講演会・研修会 | 秋田市 |
| | 10 | 4 | 水 | 理事会第3回理事会 | 全施連の総会・講演会・研修会 | 秋田市 |
| 3 | 19頃 | | 第4回理事会・研修会 | | 未定 | |

| | 月 | 日 | 曜日 | 行 事 | 内 容 | 会 場 |
|-----------|----|----|----|--------------|----------------|---------------|
| 神戸市・兵庫県関係 | 4 | 28 | 金 | 意見交換会 | 神戸市知的障害者施設連盟主催 | 楠公会館 |
| | 5 | 29 | 月 | 県知協 総会 | 兵庫県知的障害者施設協会総会 | 県福祉センター |
| | 9 | 19 | 火 | 福祉の集い | 兵庫県福祉7団体主催の研修会 | メリケンパークオリエンタル |
| | 10 | 26 | 木 | 兵庫県福祉大会(育成会) | 後援団体 | 竜野市 赤とんぼホール |
| | 1 | | | 神戸市福祉団体新春祝賀会 | | |
| | 1 | 23 | 火 | 賀詞交換会 | 兵庫県福祉7団体主催の研修会 | メリケンパークオリエンタル |
| | 1 | | | 新春交歓会 | 神戸市知的障害者施設連盟主催 | |

※兵庫県福祉7団体打ち合わせ 数回

機関紙かぞくねっとをカラー刷りから白黒にしました。会員の減少や経費捻出のためです。ご意見・ご感想がありましたらお知らせください。

兵庫県知的障害者施設家族会連合会

〒650-0016 神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL.078(371)3930 FAX.078(371)3931
mail : h-kazoku-net@alpha.ocn.ne.jp

事務局(月～金 9:00～17:00)
※9月より受付時間が変更になりました。担当：上田

全国知的障害者施設家族会連合会(全施連)ホームページ
URL : http://zenshiren.web.fc2.com/

編集後記

東京では梅雨明けからもずっと雨が振り続いて農作物に影響が出る心配があるそうです。異常気象です。

障がい(児)者を取り巻く環境が少しでも良くなるよう異常サインを見逃さないで頑張ってください。(T.K記)

《表紙題字 芝 貴弘 氏(尼崎武庫川園)》